



東北大学

Empowered by Innovation

NEC

2013年3月18日

報道機関 各位

東北大学サイバーサイエンスセンター  
日本電気株式会社

災害で通信途絶しても臨時無線ネットを構築する技術を開発  
(緊急時のコミュニケーション手段を迅速に提供・NECと東北大)

#### <概要>

東北大学とNECは、災害時などにネットワーク設備の損壊や接続の混雑のために通信できなくなったエリアで、Wi-Fi アクセスポイント（無線LAN基地局、以下AP）を活かして臨時ネットワークを構築する技術を開発しました。災害時に自治体からの情報配信や住民のコミュニケーションを実現できると期待されます。

このたび開発した技術の特長は、次のとおりです。

1. 発信した情報をAP内に蓄積し中継することで、利用者の近くのAPまで情報を伝達します。また、APが不足するエリアをカバーする、可搬型APも開発しました。
2. 最大1,000台のAP間で広範囲にわたる通信を可能とする、APのグループ化による伝達経路制御技術も開発しました。
3. 利用者の機器に設定しておいた電子証明書を調べて、警察や自治体などの緊急通信を使う優先利用者と一般利用者を区別できる機能も有しています。

詳細は、別紙（詳細プレスリリース）のとおりです。

このたび開発した技術は、平成23年度より東北大学とNECが参画している、総務省の「情報通信ネットワークの耐災害性強化のための研究開発（大規模災害においても通信を確保する耐災害ネットワーク管理制御技術の研究開発）」の一環として進めてきた研究成果です。

この成果（実際の機材を含む）を、「耐災害ICT研究シンポジウム及びデモンストラーション」（3月25日（月）から26日（火）まで、会場：ウェスティンホテル仙台等）において、出展する予定です。<http://www.nict.go.jp/info/event/2013/03/130325-1.html>

固定型APの例



可搬型APの例



(お問い合わせ先)

<本件に関するお客様からのお問い合わせ先>

NEC 知的資産 R&D 企画本部 広報グループ

<https://form.nec.jp/nec/276rd/4b126d/Inquiry.do?fid=4b126d>

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

NEC コーポレートコミュニケーション部 山梨

電話：(03)3798-6511

E-Mail： [r-yamanashi@ct.jp.nec.com](mailto:r-yamanashi@ct.jp.nec.com)

<東北大学へのお問い合わせ先>

東北大学 サイバーサイエンスセンター

担当：曾根秀昭・後藤英昭

電話番号：(022)795-6091 / 795-6090

メール：[csi-staff@isc.tohoku.ac.jp](mailto:csi-staff@isc.tohoku.ac.jp)